

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

白川町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

岐阜県加茂郡白川町

### 3 地域再生計画の区域

岐阜県加茂郡白川町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町の人口は1980年の12,922人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2020年には7,385人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には総人口が4,130人、2065年には1385人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1985年の2,462人から2020年には582人となった一方、老年人口（65歳以上）は1985年の2,462人から2020年には3,584人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1985年の7,849人から減少傾向にあり、2020年には3,219人となっている。

自然動態をみると、出生数は1985年の148人をピークに減少し、2021年には27人となっている。その一方で、死亡数は2021年には158人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲131人（自然減）となっている。

社会動態をみると、2000年には転入者（318人）が転出者（296人）を上回る社会増（22人）であった。しかし、本町の基幹産業である農林業の衰退に伴い、雇用の機会が減少したことで、町外への転出者が増加し、2022年には▲66人の社会減となっている。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域産業の衰退、事業所の撤退、福祉・医療サービス水準の低下等の様々

な課題を招くことが危惧される。

これらの課題に対応するため、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 しらかわの宝ものをしごとに変える
- ・基本目標2 しらかわで あんきに子育て あんきに暮らす
- ・基本目標3 しらかわ人（びと）を育み しらかわを未来に伝える
- ・基本目標4 しらかわへ行こう しらかわへ帰ろう

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	農業の集積率（累計）	18%	20%	基本目標1
	G A P ・ J A S 認定団体 数（累計）	3 団体	8 団体	
	木材搬出率	14, 648m <sup>2</sup>	15, 000m <sup>2</sup>	
	町内総生産（一人当たり）	2, 366千円	2, 830千円	
	新規就農者数（累計）	20人	27人	
	新規起業者数（担い手の 数）（累計）	3 人	4 人	
イ	サテライトオフィス誘致 数（累計）	1 社	2 社	基本目標2
	子育て支援センター利用 者数	2, 400人	2, 500人	
	健康寿命	男性79. 5歳 女性84. 8歳	男性79. 6歳 以上	

			女性84.9歳 以上	
	出生数	27人	30人	
	公共交通の年間利用者数	51,021人	52,000人	
	白川町の強靱化度 (チェックシートの点数)	50点	53点以上	
	I C Tを活用した取り組み件数 (累計)	5件	6件	
ウ	アンケートで「子どもの良さを伸ばす経験の機会がある」と回答した割合	71%	75%	基本目標 3
	アンケートで「地域行事への参加意欲がある」と回答した割合	78%	80%	
	アンケートで「「ふるさと白川」の良さの認識がある」と回答した割合	61%	70%	
	アンケートで「「ふるさと白川」の課題の認識がある」と回答した割合	53%	60%	
	アンケートで「課題解決(持続可能な社会の実現)の意欲がある」と回答した割合	48%	50%	
	自治会加入率	88.26%	90%以上	
	公民館講座参加人数	1,644人	2,500人	
エ	転入転出の差	△29人	△30人	基本目標 4
	空き家の解消 (累計)	123戸	130戸	

移住者の人数（累計）	211人	230人
町内観光入込客数	188,278人	273,400人
体験型プログラムによる 宿泊者数（累計）	129人	338人
町に関わりのある人口（ 応援人口）の数	1,561人	2,140人
ふるさと納税の納税額	33,794千円	43,000千円

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

白川町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア しらかわの宝ものをしごとに変える事業
- イ しらかわで あんきに子育て あんきに暮らす事業
- ウ しらかわ人（びと）を育み しらかわを未来に伝える事業
- エ しらかわへ行こう しらかわへ帰ろう事業

#### ② 事業の内容

ア しらかわの宝ものをしごとに変える事業

起業・就業支援に対して十分な支援を行い、挑戦できる場所を提供して  
いく事業

#### 【具体的な事業】

- ・担い手の育成と農地の保全
- ・ふるさとの恵みを使った特産品づくり
- ・白川茶の生産基盤を守る
- ・農業関係施設の体制強化

- ・森林整備の促進
- ・森林資源の活用
- ・新規就農の推進
- ・みんなのチャレンジ支援
- ・働きたくなる情報の集約・発信
- ・様々な働き方と暮らしの提案 等

## イ しらかわで あんきに子育て あんきに暮らす事業

子どもや高齢者、障がい者等地域で生活を営むあらゆる人が安心して生活できる環境づくりをソフト、ハード両面で進めていく事業

### 【具体的な事業】

- ・途切れのない子育ての支援・子育てしやすい環境づくり
- ・高齢者が生きがいを持ちあんきに暮らせるまち
- ・出会いサポートの推進
- ・地域の社会教育施設等の機能強化、見直し
- ・誰もが気軽に「おでかけ」できるまち
- ・あらゆる分野で最新技術を活用
- ・安心を感じられる基盤づくり 等

## ウ しらかわ人（びと）を育み しらかわを未来に伝える事業

地域の課題にしっかりと向き合い、地域に対して何ができるかを自分なりに考え、この白川の地で仕事を創出することができる「しらかわ人（びと）」を育んでいく事業

### 【具体的な事業】

- ・清流白川への回帰
- ・大学との連携による人材育成
- ・少人数のメリットを最大限活かす特色ある教育活動の推進
- ・地域への愛着と誇りを育てるふるさと教育の推進
- ・みんなで地域をつくるまち
- ・地域コミュニティの交流拠点の創造

- ・地域を守るきずなの強化・支援 等

## エ しらかわへ行こう しらかわへ帰ろう事業

移住・定住を推進するための体制を整備し、「白川に住みたい」、「白川に戻りたい」という人の増加と実現のための障壁を取り除く取り組みを進める事業

### 【具体的な事業】

- ・移住・交流の推進
- ・空き家・空き店舗の有効活用
- ・危険空き家の対策
- ・地域人材のふるさと定着促進
- ・ふるさととつながる人口の増加
- ・白川ファンの拡充
- ・タウンプロモーションによる町の魅力向上
- ・グリーンツーリズムの推進 等

※ なお、詳細は第2期白川町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

### ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

### ④ 寄附の金額の目安

150,000千円（2023年度～2024年度累計）

### ⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

### ⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

## 6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで